

令和4年度 (一社) 犬山祭保存会社員総会 議事録

●日時

令和4年6月25日(土) 19:00～20:30

●場所

IMASEN 犬山からくりミュージアム玉屋庄兵衛工房 2F

●出席者(敬称略)

【常任理事】会長(石田)、会長代行(多和田)、副会長(大澤、澤野、小林)、会計(下山)、伝統文化委員長(市橋正光)、財務委員長(今井)、てこ委員長(浅野)、てこ副委員長(吉田成伸、陸浦)、企画広報委員長(松田茂樹)、企画広報委員長代行(齐木治郎)、企画広報副委員長(柴田、林)、からくり文化振興部長(加藤かおる)

【理事】枝町組理事(武藤)、魚屋町組理事(小川)、下本町組理事(松岡)、中本町組理事(栗谷)、熊野町組理事(浅野)、本町組理事(安田)、練屋町組理事(小島)、鍛冶屋町理事(市橋義和)、名栗町組理事(森)、寺内町理事(三輪)、外町理事(伊藤)、内田町組理事(若山)

【委任状提出者】長谷川国光、水田鋈司、長井浩司、坪内敬治、藤澤秀浩、松田好明

【企画広報委員】齐木美加、前田、吉田昌司、梅田

【犬山市】歴史まちづくり課(加藤課長、市野主査)

【その他】保存会事務員(竹村)

●議事

I. ①会長挨拶

II. 社員総会

●配布資料

① 令和4年度(一社)犬山祭保存会総会議案書

② 第10回日本の祭シンポジウムチラシ

●議事内容

I. ①会長挨拶

- ・会長：本日は一般社団法人犬山祭保存会の社員総会である。定款によって、本日まで出席の皆さんは社員となり、この社員総会が最終的な議決機関となる。7月9日に会員総会を予定しているが、こちらは今日決まったことを報告する会となるので、本日は非常に重要な位置を占めている。

私は犬山市の選挙管理委員長を承っており、昨日から参議院選挙が始まったが、私は市民の方との会合において頻繁に、投票行為は民主主義社会における国民の義務であるので、選挙に行ってください、ということをお願いしている。皆様におかれましても投票に行ってくださいようお願いしたい。明治維新から敗戦まで77年、また敗戦から現在までもちょうど77年であり、ひとつの時代の変り目が今回の選挙と考えている。祭礼というのは、天下の公式の行事であり政治と同じである。昔から政治が「まつりごと」と言われるように、祭礼を担当している者として、政治にも積極的にご参加いただきたい。

本日の議案は3つである。それぞれの担当者からご説明いただく。

本日の社員総会が最終的な今年度の最終的な議決であり、多数決で決めるので、お願いしたい。ここ3年間、かつてない、一般社団法人としての改革に踏みこんだ。コロナ禍で祭を二年やらなかったのも、その間に議論に集中した。皆様から前向きな議論をいただき、そのご意見も十分取り入れて本日の議案を作ったつもりである。本日、議決いただいて、7月9日の報告会に、会費を払っていただいた会員の方にも出席していただいて、一般社団法人犬山祭保存会の活動報告会を開催して、そこで報告をするという段取りである。

この理事会で原案についてたびたびご意見をいただき、修正を重ねて本日を迎えた。本日提出させていただいた議案を最終的に評決して、議決をいただきたいと思うのでよろしくをお願いしたい。

- ・専務理事：本日の総会の後、委員の皆様全員、また市議員の方々にも7月9日の会のご案内を差し上げる。広く見ていただくという趣旨によるものである。
訂正があったら、遠慮なくご指摘いただきたい。

II. 議題

① 令和4年度犬山祭保存会社員総会

※総会資料については、報告会には修正したものを用意することとなる。

- ・会長：第一号議案（令和3年度事業報告・会計報告・監査報告）の記載について、記載の不備のご指摘が多々あり、申し訳なく思っている。ただ、それは記載上の問題であり、内容としては問題ないと考え、各委員長の説明をお聞きいただいたということで議決したいと思う。ありがとうございました。
- ・企画広報副委員長：第二号議案（定款変更）の説明。
- ・会長：今回初めての会則変更ということで何度も議論を重ねてきたと思う。この会を社員総会として最終的な議決を与えるという定款であるので、規則に則って、最終的な議決とさせていただく。
- ・専務理事：第三号議案（理事の変更）についての説明。

- ・練屋町理事：練屋町の負担について。町内の負担は僅かということだが、町内としては高額であるので、町内の努力もご理解いただきたい。
- ・会長：あくまで全体の比率として僅かということであり、町内のご負担が重いものであることは理解している。
- ・専務理事：各町内が、自己負担が大変だという時には、貸出資金をご利用いただくということも可能であるので、今後活用されることもご検討いただけたらと思う。

- ・専務理事：資料説明について。
- ・会長：祭は本当にお金がかかる。どこの祭でも、人とお金が足りない、ということが言われる。それは事実である。犬山は、市の公的な補助がしっかりしているのと、また、商工会議所の力も大きい。これは、かつての犬山町の経済界が、祭に寄付金を集めるという伝統的な流れがあるということを知っ

ておいていただきたい。また、犬山の観光協会が非常に力がある。愛知県の中で群を抜いている。名鉄と組んだりなど、広報宣伝力が非常に強い。こういう事も、犬山祭の関係者として頭の中に入れておいていただきたい。

これだけの観光客が来ると、お金が落ちるので、城下町の中では儲かっているところもある。そういう人たちにも利益を与えている、ということは良いことではないかと思っているし、例えば、祭の時の駐車場の駐車料金は莫大な金額が入ってくる。社員の皆さんはそういった縦横の情報を組み合わせ、持続可能な祭を作っていきたい。

- ・吉田委員：毎月のように理事会があるが、各町内の困りごとや相談したいこと等があると思うが、理事会の場以外に、理事や当番長、町会長が集まる座談会的な議論をやっていただけたら有難いと思う。
- ・会長：委員会がそういう働きをしていただきたい。祭で大事なものは人の出会いを作ることである。保存会の公的なものではなく、自主的な縁として、世間話をしたり補い合い助け合う話が当然出てくる、そういうコミュニティが大事である。先日インディゴの関係者からくりを見ていただいたが、映像を作るとのことだった。世界で600のホテルがあり、そこで映像を流すという企画を立てるとのことだったので楽しみにしておいていただきたい。こういった情報を公開し合っていきたいと思う。
- ・専務理事：前回もお願いしたが、7月6日（水）に白帝ワークが行われるので、各町内車山蔵やどんでん館での対応をお願いしたい。
- ・会長代行：審議のほどありがとうございました。次回の活動報告会でもご出席のほどお願いしたい。

●次回日時

令和4年7月9日

●次回場所

フロイデ2階

●記録日

令和4年7月2日

●記録者

竹村

●署名

石田芳弘

溝口正成